

平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 鳥取短期大学 実施報告書



実施主体 幼児教育保育学科 1年生有志20名

実施内容 平成25年10月19～20日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

オレンジリボン運動について授業で知り、その後自分たちで活動をしたいと思い、どのような活動が行われているかを調べた。そして、大学祭でブースを設けることになり、調べたことをポスターにしたり、倉吉児童相談所の協力を得て配布物を準備したり、来客者にメッセージを記入してもらう立て看板を制作したりした。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

オレンジのTシャツと倉吉児童相談所から借用したジャンバーを着用し、ブースにて広報活動を行った。子どもたちのための募金活動や、来客者のメッセージを立て看板に貼った。オレンジリボン運動についての説明を行ったり、子どもに風船を配ったりして、来客者との交流を図った。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

オレンジリボン運動を始めた時には、正直どんなことをするのかよく分からなかつたが、みんなで活動をするのはとても楽しかった。児童虐待防止についてより詳しい知識を身につけることができたし、地域のオレンジリボン運動の取り組みにも目を向けるようになるなど、良い機会になった。

その後、地域の児童養護施設で遊びボランティアをさせてもらうことになった。メンバーが交代で土日に伺って、宿題を見たり、一緒に遊んだりしている。今後一層学びを深めて、子どもたちとのかかわりに生かしていくたいと思う。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 就実短期大学 実施報告書



実施主体 幼児教育学科子育て支援ボランティアグループGBA

実施内容 平成25年9月～26年1月の「就実やんちゃキッズ」にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待に関する勉強会を実施した。
- ・悩みを抱える保護者に対する本団体ができる活動について意見交換をした。
- ・県内の相談・支援窓口を確認した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

- ・本団体が月に1回実施している子育て支援イベント「就実やんちゃキッズ」及び、長期休みを利用して行っている「学外就実やんちゃキッズ」において、学生がオレンジリボンを装着して参加した。加えて、会場内に啓発ポスターを掲示し、参加者全員にリーフレット等を配布した。

## ③「オレンジリボン運動」を終えた感想等

- ・児童虐待に対する学生自身の理解を深めることができた。
- ・学生が将来保護者になった際の相談・支援窓口や援助を求める方法を理解した様子である。
- ・本活動への参加により、我々が行う子育て支援イベントを通じて、地域の子育て世帯や悩みを抱える保護者に対して、どのような支援ができるかを考えるきっかけになり、その考え方を共通の理解のもと、イベントを開催できるようになった。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 美作大学 実施報告書



実施主体 美作大学・有岡研究室4年生

実施内容 平成25年10月14日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待問題についての勉強(児童虐待の実態・愛着障害等との関連について)
- ・オレンジリボン運動に関する勉強(オレンジリボン運動の歴史・活動内容)
- ・大学祭当日に配布するアンケート・資料の作成

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

大学祭来場者のうち100名に対してのオレンジリボン運動に関するアンケート調査を行った。当日は大学生などの学生の来場が多く、さまざまな年代の人々に調査を行うことができた。アンケートに答えてもらった人にオレンジリボン・児童虐待防止推進月間のリーフレットの入った配布物を配った。

## ③「オレンジリボン運動」を終えた感想等

「自分には関係ないことだ」とアンケートを断られることも多く、調査は時間を要した。

児童虐待について、マスメディア等で取り上げることもあり、虐待がどのようなものなのかを「知らない」と答えた人は1人もいなかった。しかし、オレンジリボン運動について、「聞いたこともあり、その内容もよく知っている」と答えた人は全体の2割も満たず、オレンジリボン運動が浸透しているとは言えない結果になった。

また、関心度も人それぞれで、年齢や性別に、児童虐待に関して関連性があるとは思えなかつた。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 広島国際大学 実施報告書



実施主体 医療福祉学科 医療福祉学専攻・保育学専攻 1・3年生有志

実施内容 平成25年11月26日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

『子ども虐待について』『子ども虐待の現状』『広島県の子ども虐待の現状』『通告義務について』『子ども虐待を減らすために』以上の点について、学習やグループワークを行った。また、学習した結果をポスターにした。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

1. ポスターを作成し、大学祭にて掲示
2. 大学祭でオレンジリボン等の配布
3. 11月の児童虐待防止推進月間に1週間、毎日お昼休みに校内放送を実施。  
校内放送の内容は、『子ども虐待とは』『子ども虐待の現状』『通告義務について』『事例紹介』『今私たちにできること』をテーマに行った。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

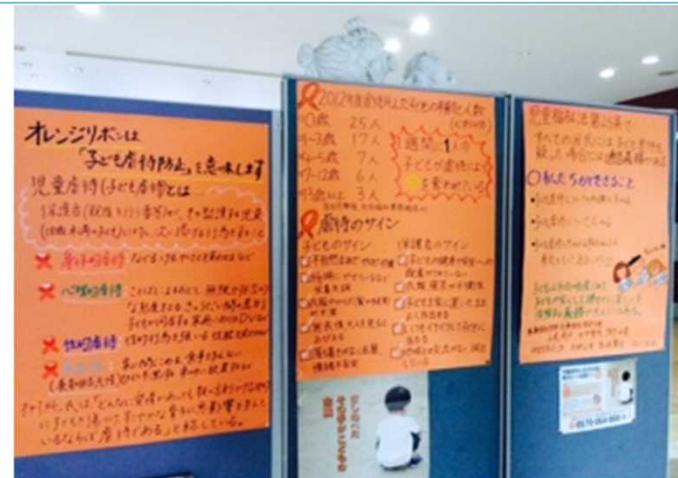
・まず、オレンジリボンは『子ども虐待防止』を意味していることを幅広く、知つてもらえた。

・児童福祉法第25条により、通告義務があることを知つてもらえた。また、しっかりと伝えることができた。

・私たちにもできことがあるのだと分かった。

・『虐待のサイン』を私たちも知ることができた。

・虐待死をした子どもの人数が多いことを知つた。そして、自分たちにできることをみんなで考へる、良いきっかけとなつた。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 福山平成大学 実施報告書



実施主体 福祉学科

実施内容 平成25年10月26・27日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

本学福祉学科として、オレンジリボン啓発活動を行うため、すべてのゼミから担当者を募ることとした。また、本学講義「児童福祉論」などの授業の中でオレンジリボンの概要および作成手順のレクチャーを行った。事前に、他学科教員にもオレンジリボンを配布し、周知徹底をはかった。

## ②実施期間に取り組んだ具体的内容

大学祭の本学科ブースにおいて、オレンジリボンの啓発活動を参加者に向けて行った。その際、児童虐待・オレンジリボンに関するパネル展示を行った。また参加者にオレンジリボンの作成方法を学生がレクチャーするようにした。作成してもらったオレンジリボンは、参加者への配付、広島県福山市子育て推進課への贈呈用とした。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

本学科は社会福祉士養成教育に携わる機関として、今回のオレンジリボンに関するイベントを開催できたことを喜びに感じています。来場者への啓発活動にもつながり、本学科の地域貢献に役立てることができました。

次年度においても同様の取り組みをしたいと考えていますが、来場者の関心を惹くことに課題があるように思いました。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 広島文教女子大学 実施報告書



実施主体 人間福祉学科 2年生ゼミ生、3年生有志

実施内容 平成25年11月30日の大学ホール前にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

児童虐待防止月間及びオレンジリボンについてのアンケートを作成した。  
ポスターを学内掲示板3か所に掲示した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

オレンジリボン及びリーフレットの配布、アンケート実施。

アンケート調査の結果から、児童虐待についての認識、児童虐待防止月間の周知及びオレンジリボンについて分析した。

## ③「オレンジリボン運動」を終えた感想等

5年前から、児童虐待防止月間に合わせて、塚村ゼミでオレンジリボンを手作りで作成し、学生に配布し周知を呼びかけてきた。アンケートも実施。

今年度は既成のオレンジリボンを使用したが、ゼミとしては、手作りの方がよかったです。

学生は、授業で児童虐待等について学んでいるが、児童虐待防止月間については、知らない人も多かった。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 山口福祉文化大学 実施報告書



実施主体 ライフデザイン学部ライフザイン学科子ども生活学専攻2年生有志

実施内容 平成25年11月3日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

基礎ゼミIVの授業の中で、(1)子ども虐待の実態、(2)子ども虐待防止に向けての取組、(3)オレンジリボンについての3点を調べた。また、調べた内容を班ごとに模造紙にまとめ、学園祭で見ていただくための掲示物を準備した(写真①)。さらに、子ども虐待防止に向けてのメッセージを記入してもらうためのボードを用意した(写真②)。

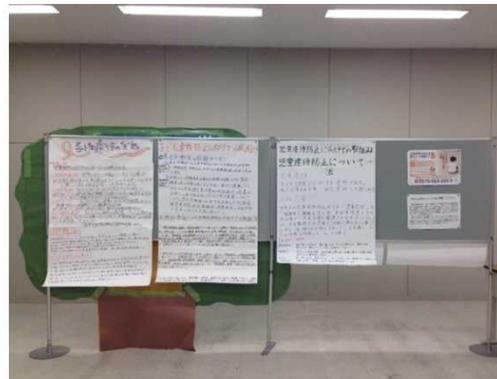
## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

(1)子ども虐待の実態、(2)子ども虐待防止に向けての取組、(3)オレンジリボンについての3点をまとめた模造紙を、学園祭の展示会場に掲示した。また、展示会場でオレンジリボンを配布すると共に、来場者に子ども虐待に対するメッセージを専用の用紙に記入していただきボードに掲示した。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・虐待の対策はさまざまな機関で行われているということがわかりました。
- ・もっと沢山の人にオレンジリボンの意味を知ってもらって一緒に活動できたらいいなと思う。やっぱり大人が子どもを守り、助けてあげなければいけない。
- ・児童虐待の数が年々減少していくように虐待防止についてもう少し考えていいかいいと思う。
- ・子ども虐待のニュースを聞くと、私はいつも心が痛くなります。まだ、小さいのちが奪われることは、少しずつでも減っていってほしいと思います。この活動を広げていき、少しでも子ども虐待がなくなればいいなと思います。
- ・様々な活動がされていて驚きました。虐待のない世の中になるといいなと思います。
- ・虐待防止の対策をもっとたくさん考えるべきだと思います。
- ・子ども虐待のない社会それが理想で目標とすべきところであるけれど、人の意識を変えることの大変さを改めて感じました。

写真①(学園祭での掲示)



写真②(子ども虐待防止に向けてのメッセージを記入してもらうためのボード)



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」

## 四国大学 実施報告書



実施主体 看護学科、課題探求ゼミ2年生、母性看護学総合実習4年生

実施内容 平成25年11月8～10日の大学祭・ゆめタウン来場者に啓発活動

### ①事前に取り組んだ内容

命の継承、育児支援、虐待の現状、オレンジリボンの成り立ちについて、学生の検索資料をもとに学習会を開き基礎知識を共有する。次に、年代別に伝えたいメッセージ内容の討議、子育てほっとスペース『すきっぷ』の代表者と学生主体のオレンジリボン運動の実施と運用方法の調整。配布資料・ポスターの作成を行う

### ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

大学祭：展示物の説明、パンフレット配布とアンケート調査

ゆめタウン来場者へのパンフレット配布、ふれあい広場46組の親子に遊びの支援とパンフレット、オレンジリボン配布、

中学生200人に「赤ちゃんふれあい体験」の支援とパンフレット配布

### ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

オレンジリボン運動に参加して、地域住民のオレンジリボン運動に対する認知度は低く、児童虐待予防への関心も低いことが分かった。小さい子どもがいる家庭では虐待やオレンジリボン運動への関心度も高いように感じたが、子育て広場利用者58人中、知っている人は3人と極めて少なく、オレンジリボンが世間的に認知されていない現状にあることが分かった。私は、助産師として働く中で、子育てがしやすく、子ども虐待がなくなるような看護をしていきたいと考えている。大学祭来場者139人の虐待のイメージについては「身体暴力を挙げたものが一番多く、ついで育児放棄、言葉の暴言、性的な関係、無視をする」の順であった。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 聖カタリナ大学 実施報告書



実施主体 人間健康福祉学部3年生畔地ゼミ

実施内容 平成25年10月26日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

児童虐待に関する情報を収集、整理した。本ゼミには、日本人学生および韓国人留学生があり、日韓の状況についても互いに報告しあった。

大学祭に訪れる子どもや大人が見て分かりやすい掲示にするよう工夫をしながら当日の展示物等を作成した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

来場者に、子どもに向けたメッセージを書き込んでもらい、ボードに貼っていき、メッセージボードを完成させた。そのメッセージを多くの人に見てもらい、子どもに託す思いや夢を共有してもらった。さらに、子どもとゼミ生の共同作業で、折り紙のメダルをつくった。大人向けには、オレンジリボンに加え、児童虐待防止のチラシや葉を配布して意識喚起をした。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

今回実施するにあたり、多くのことを調べたり、議論し、今まで以上に児童虐待について理解を深めることができ、児童虐待防止への関心がより高まった。

また、大学祭当日は、オレンジリボン等の配布を通じて、多くの方々に関心を持っていただけたと実感している。

大学祭後には、ゼミ内で今回の活動の事後評価を行ったが、来年度は更なる工夫をして、親子がリラックスでき、かつ、オレンジリボンの意味が伝わるように工夫したいとの意見が出た。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 松山東雲女子大学 実施報告書



実施主体 心理子ども学科3年生有志

実施内容 平成25年11月9・10日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

- ・児童虐待に関する学習、資料収集
- ・「児童虐待防止啓発標語」の募集・選考
- ・多数の学生によるオレンジリボン制作
- ・チャペルアワーでの啓発・呼びかけ
- ・来場者アンケートの企画・作成
- ・告知用掲示物、チラシ作成と掲示・配布

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

- ・資料、入賞標語作品、関連図書・絵本の展示と読書コーナーなどの設営
- ・チラシ・オレンジリボン配布、「飴のつかみ取り」企画などによる啓発・呼び込み活動
- ・「みんなで作ろう！オレンジリボン」企画
- ・来場者アンケート調査の実施と分析
- ・プロジェクト成果報告会(1月、チャペルアワー)

## ③「オレンジリボン運動」を終えた感想等

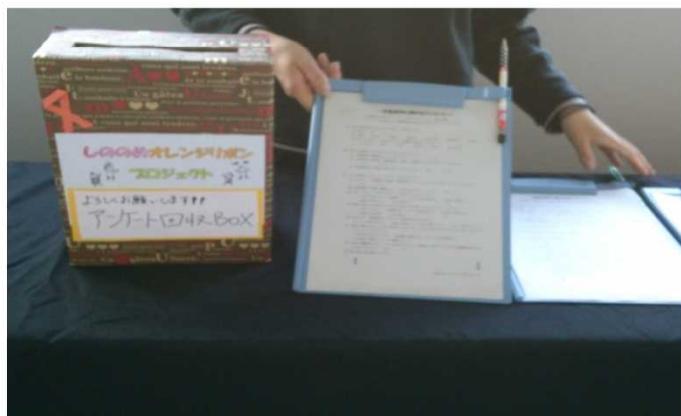
・予想を超えた来場者があり、また多くの協力を得て、相当数の人に働きかけることができた。

・特に関心の高い来場者もあり、熱心なやりとりや激励を受けた。自分たち自身で児童虐待のない環境を作っていく必要があると強く感じた。

・アンケート結果をみると、児童虐待への関心は高いが、子育て経験のある親、特に母親の不安が大きいことがわかり、身近な問題であるとともに、取り組みの重要性を感じた。

・「みんなで作ろう！オレンジリボン」企画では、来場者に一人ひとつずつオレンジリボンを貼って行ってもらった。全部集まって大きなオレンジリボンの形になったときとても達成感を感じた。

・今後も継続していくべきだといふ。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 純真短期大学 実施報告書



実施主体 こども学科人間関係研究コース学生

実施内容 平成25年10月26・27日の学園祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

- ・学園祭にて教室展示の為、調べ学習をし、ポスターを準備した。
- ・学生それぞれがオレンジリボン活動、児童虐待についての理解を深めた。
- ・オレンジリボンを配布する為、事前にオレンジリボン、台紙を作成した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

- ・教室展示にてポスターを掲示した。ポスターの内容は、「児童虐待における児童相談所の役割」「虐待としつけの違い」「オレンジリボン活動とは」「虐待の事例研究」「児童虐待に関する新聞の切り抜き」などであった。
- ・学園祭来場者、教室展示来訪者に、オレンジリボンとパンフレットの配布を行った。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

- ・保育を学ぶ者として、運動に参加できることは、とても勉強になった。
- ・もっと沢山のひとに知ってもらいたい。
- ・自分たちが作ったオレンジリボンを受け取ってもらえるのは、とても嬉しかった。
- ・(展示ポスターを作る為に)新聞記事を集めさせて、月に必ず2~3件の児童虐待の事件があり、ビックリした。
- ・運動に向けて、調べていくなかで、自分自身とても勉強になった。
- ・虐待を受けて辛い思いをしている子ども達が減って欲しい。
- ・これから子育てをする自分たちと同じ年代の若者に、虐待の知識を持つもらうことも、私たちが地道にできることであることが分かった。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 福岡こども短期大学 実施報告書



実施主体 こども教育学科 ファミリーサポート研究会

実施内容 平成25年10月28.29日の「こどもフェスティバル」にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

- ・虐待に関して講義で学習したことを再確認。
- ・オレンジリボンのホームページから積極的な虐待防止活動についての喚起。
- ・「こどもフェスティバル」当日、募金を募る際の言葉かけの確認。
- ・過去3年間に作成したポスターの見直しと今年度のポスターについての話し合い。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

- ・募金を呼びかけるポスター作成。
- ・募金をしていただいた方に渡す「キャンディレイ」約300本の制作。
- ・「こどもフェスティバル」2日間は、  
ポスター掲示、ならびに、キャンディレイを持って募金活動。

## ③「オレンジリボン運動」を終えた感想等

本学学生や「こどもフェスティバル」に遊びに来られた親子連れ、高校生、また、短大職員、関連校職員など多くの方々が気持ちよく募金をしてくださり、とても嬉しかった。

来年度の課題として、募金をしてくださる際に、何回か「オレンジリボン」のことを詳しく聞かれることがあったが、うまく説明ができなかつたため、もっときちんと内容を理解し、言葉にできるようになっておかなければいけないと思った。



平成 25 年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」

北九州保育福祉専門学校 実施報告書



実施主体 青龍祭実行委員会

実施内容 平成 25 年 11 月 2・3 日の文化祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

在学の学生に啓発活動を実施しオレンジリボンを作成。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

- ・ どこで啓発活動を実施すれば効果が上がるかを実行委員で話し合いを行なった。
- ・ オレンジリボン（配布用）を作成。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

児童虐待について、今回の活動を通じ微力ではありますが、啓発に協力ができました。また、共にオレンジリボンを作成する中（準備）で学生間の交流と理解も深まったと思います。

当日、文化祭に来場いただいた方も、オレンジリボンをつけて参加されている姿を見て嬉しく思いました。

平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」

## 西日本短期大学 実施報告書



実施主体 保育学科 手嶋ゼミ

実施内容 平成25年10月19日の文化祭にて啓発活動

### ①事前に取り組んだ内容

平成25年度「学生によるオレンジリボン運動」に参加することになり、改めて児童虐待の現状について調べ勉強会を行い、展示のためのパネルを作成した。また、自分たちでオレンジリボンを作り、保育学科の学生に配布した。

### ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

教室にパネルを展示して、受付でチラシ・オレンジリボンを配布した。また、アンケート「オレンジリボン運動を知っていますか？（はい・いいえ）」を行った。

児童虐待防止活動の地元テレビニュース（録画）などを見ることが出来るコーナーをつくり上映した。

### ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

保育学科にいながら、オレンジリボン運動を知っている学生が少ないことに驚いた。この取り組みを学内で紹介することで児童虐待防止「オレンジリボン運動」に関心を持った学生が増えたように思う。

今回、この「学生によるオレンジリボン運動」に参加することになり、この取り組みを知ることができ、児童虐待（防止）について今まで以上に関心を持つようになった。

今後も「学生によるオレンジリボン運動」に参加することができるなら、学内のさまざまなイベントの際に啓発活動を行っていきたい。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 九州医療センター附属福岡看護助産学校助産学科 実施報告書



実施主体 九州医療センター附属福岡看護助産学校 助産学科  
実施内容 平成25年10月4.5日の学校祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

児童虐待の現状や、予防についての授業の振り返り  
厚生労働省のホームページに記載されている内容の閲覧  
ポスターの掲示

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

啓発ポスター、リーフレット、オレンジリボンの配布  
学校祭で、学生がオレンジリボンをつけ、教室のホワイトボードに運動の概要を記述して説明した。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

福岡県は児童虐待が多いと来場者に伝えると、実際に近隣にいたという話やオレンジリボン運動のきっかけとなった事件を知っているということを聞き、児童虐待に対して関心が強いということを実感した。しかし、一方で、実際にオレンジリボン運動について知らない人も多く、今後もオレンジリボンをバッグにつけるなどして啓発していくないと感じた。また、児童虐待が起こらないように支援ができる助産師になりたいと思った。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 久留米大学 実施報告書



実施主体 文学部 社会福祉学科1~3年生有志

実施内容 平成25年9月29日の久留米市内及び大学内啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

本学の社会福祉学科の1~3年生の学生(合計310名)へ、児童虐待への認識についてのアンケートを実施した。アンケート内容としては、児童虐待の認識、虐待発見の際の対応、相談先、児童虐待へ興味を持った機会などについて行った。その結果、学年が上がるごとに、虐待の定義の理解が深まるとともに、虐待への対応についての主体的な回答が見られた。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

午前中は、学生49名を3グループに編成し、西鉄久留米駅の西口・東口、JR久留米駅の水天宮口・まちなか口、ゆめタウン久留米にて児童虐待防止のチラシの配布を行った。チラシの配布は、本学で印刷した500枚全てを配布した。

午後からは、学内にて、福岡市子ども総合相談センター 久保健二氏による「児童虐待の防止」についての講演会をおこなった。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

(チラシの配布を終えて)

オレンジリボン運動のことを知らない人が多いんだなと思いました。地域の方から「オレンジリボン運動って何なの?」という質問もありました。これからは、もっと地域の人にもオレンジリボン運動を知ってもらって、少しでも児童虐待がなくなれば良いなと感じました。そして、もし虐待があった時のために、適切な対応ができるようにしたいです。

(1年生・女子)

(講演を聞いて)

しつけとして暴力をする親も少なくないと感じます。どこまでがしつけなのかということでは難しいところもあると思うけれど、地域の人の支えや子どもの変化に気づいてくれる環境というものを広げていけたらと思います。自分が知らないかなしい現状があることが知れて、胸が痛くなりましたが、少しでも支援できるようになればと思います。(1年生・女子)



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 産業医科大学 実施報告書



実施主体 産業医科大学医生祭実行委員会医療部有志  
実施内容 平成25年11月2~4日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

大学周辺にある複数の児童養護施設を訪問し、職員の方々を始め、様々な子供達と交流。この交流を契機に、児童虐待について考え、勉強した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

オレンジリボンについて、児童虐待について記載した掲示物を作成・展示。また、大学祭に訪れた方々に声をかけ、オレンジリボンについて話をし、周知を試みた。この際、募金も同時に実施し、児童養護施設に寄付を行った。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

・オレンジリボンの存在と意味について知らない人が多かった為、今回学園祭を通してリボンについて・児童虐待についての周知活動を行うことができ、有意義な活動になった。

・実際に児童養護施設を訪問し、施設の方々や子供達と交流したことで、児童虐待の現状やその後の子供達の成長について知ることができた。また、施設訪問前後で大きくイメージが変化したため、今後、現状について様々な人に伝えていければ、と感じた。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 西九州大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学科 ふくフェスチーム

実施内容 平成25年10月25日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

大学近隣高等学校へ案内・事前資料配布。参加大学生へオレンジリボン運動等に関する事前学習を行った。啓発用コルクボードパネルの見本を作製した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

資料にて、高校生と大学生が共に、子どもと家庭の福祉を学んだ。

オレンジリボンを作成し、啓発パネルを作成した。

作成したパネルは参加した学生の高校へ、児童虐待防止月間用ポスターとともに持って帰ってもらい啓発用とした。

## ③「オレンジリボン運動」を終えた感想等

高校生・大学生ともに、児童虐待について理解してはいたがオレンジリボン運動に関しては、知らないと大半の学生が答えた。

その中で、作成を通じて意識を高めることができた。実施後の感想にて、有意義な体験であった事があげられ、関心が高められたと思う。

また、大学内でも作成した啓発パネルを展示。多くの人に対しての啓発が進んだと考える。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 長崎女子短期大学 実施報告書



実施主体 幼児教育学科 1年生、2年生

実施内容 長崎県主催のイベント・学園祭（平成25年6月1日～平成26年2月6日）

## ①事前に取り組んだ内容

卒業研究のテーマの一つとして児童虐待に取組み、実態把握のために県内の 児童虐待に  
関わる機関に出向いて調査した。

- ・社会福祉法人 光と緑の園（4月12日）
- ・AIGシビックホール（4月26日）
- ・長崎命を大切にする会（4月26日）
- ・県警察本部少年課 少年サポートセンター（5月10日）
- ・長崎県子ども家庭課（5月17日）
- ・長崎子ども・女性・障碍者支援センター（5月24日）

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

- ・主要なゼミメンバーがオレンジリボンを作成し、学園祭当日幼児教育学科  
全員でオレンジリボンを左胸につけ、意識を高め啓発活動に参加した。
- ・県の資料を参考にポスターを作成し、学園祭で掲示し啓発活動を行った。  
(11月2日・3日)
- ・長崎県福祉保健部と連携し、学園祭の来場者へパンフレット等の啓発 グッズ配布を行い、オレンジリボンについて説明を行った。 (11月2日・3日)
- ・長崎県教育委員会主催の「子どもを虐待から守るために(講師:柿田多佳子さん)」の講演を幼児教育学科2年生全員で受講した。 (1月22日)
- ・卒業研究のテーマの一つとして児童虐待に取り組み、学内研究発表  
会で発表した  
(2月6日)



## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

幼児教育学科の学生が主体となって学園祭(弥生祭)でオレンジリボン運動を行なった。



保育の勉強をしている私たちにとって「子どもの人権尊重」は、日頃の授業でも話題になっていることであるが、他学科の学生や来場者などにはオレンジリボン運動の趣旨を広めるよい機会となつたと考える。また、将来保育者を目指す私たちには「虐待防止に関する情報・意識」が深まり、社会的弱者や子どもの人権を守るという姿勢を新たにすることができた。

平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 長崎純心大学 実施報告書



実施主体 長崎純心大学現代福祉学科1年生60名

実施内容 平成25年10月13,14日に長崎水辺の森公園にて活動

## ①事前に取り組んだ内容

活動の趣旨説明とオレンジリボン運動([www.orangeribbon.jp/](http://www.orangeribbon.jp/))のサイトにある、オレンジリボンの作り方を学んだ。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

長崎県福祉保健部こども政策局とともに、児童虐待防止啓発、ドメスティック・ヴァイオレンス(DV)予防、妊娠サポート事業などの各種資料を配布した。また、オレンジリボンを製作する活動を参加者と一緒に行った。

## ③「オレンジリボン運動」を終えた感想等

- 救える命があるなら、多くの子ども、親を救いたいと思いました
- これからの未来、虐待というものが減っていくことを心から望みます
- 多くの人に虐待の現状を知らせ、一人でも多くの尊い命を救うことができるよう、今後もこの活動に参加したい
- 将来、児童に関する仕事につきたいと考えているので、オレンジリボン運動がこれからもっと多くの人に知っていただけるお手伝いをしたい
- 不安や悩みを抱えている人の心のわだかまりを少しでも減らすことができたら、苦しむ大人も子どもも少なくなると思いました



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 熊本保健科学大学 実施報告書



実施主体 助産別科

実施内容 平成25年10月19日の大学祭にて啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

学生間でオレンジリボン運動について学び、今後の私たちに出来る取組みをディスカッションした。

ポスター作成・児童虐待についてなどの掲示物の作成を行った。

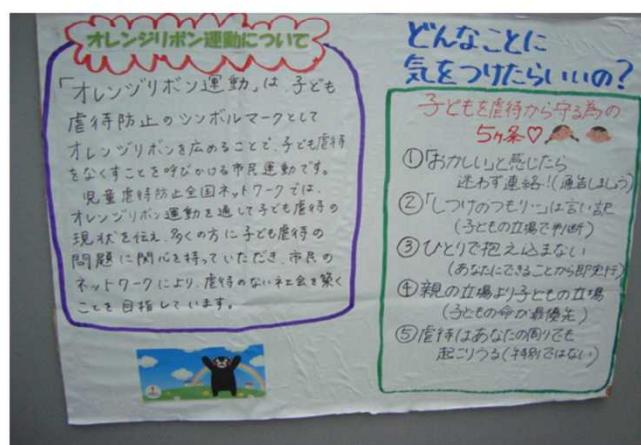
## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

アロマクラフト作りを同時にを行い、クラフト作成時にオレンジリボン運動について学生や来店者に知識を普及出来るように話をし、児童虐待について考えてもらい、オレンジリボンを配布した。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

ピンクリボンは知っている方が多かったが、オレンジリボンは知らない方ばかりだったことを実感した。

これから親世代になる年代から実際に育児をされている方、お爺ちゃんお婆ちゃんなど幅広い世代に伝えることが出来たことは意義があったと思うし、児童虐待を予防する第1歩であることを実感した。



平成 25 年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」

## 東九州短期大学 実施報告書



実施主体 幼児教育学科 1・2年生有志

実施内容 平成 25 年 10 月 27 日の大学祭・その他の啓発活動

### ① 事前に取り組んだ内容

児童虐待防止について理解をし、再確認する。

展示用ボード・メッセージカード・3種類の大きさのオレンジリボンを作成する。

### ② 実施期間に取り組んだ具体的な内容

和敬祭にて、守ろう 子どもたちの「笑顔」のテーマを掲げ、オレンジリボンとメッセージカードを配布する。保育士研修会にて、講演後オレンジリボンとメッセージカードを配布する。

### ③ 「オレンジリボン運動」を終えての感想等

保育者養成における専門的知識としての、児童虐待であったが、オレンジリボン運動を実施することにより、学生共々積極的に行動し、参加する喜びを感じることができた。

今後も、多くの人々と児童虐待防止について考え、また行動することで、子どもたち一人一人が幸せに過ごせることができる社会になるよう願っています。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 別府大学短期大学部実施報告書



実施主体 初等教育科・保育科 学生

実施内容 平成25年11月2日・11月23日の大学祭にて啓発活動、11月16日「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinおおいた」において話題提供

## ①事前に取り組んだ内容

各種施設および団体から講師を招いて次の講義を実施した。児童相談所ケースワーカーより「児童虐待と里親制度について」、人権同和教育啓発課 教育相談員より「子どもの人権について」、児童相談所 一時保護課長より「児童虐待の実態」、地域子育て支援センター長より「子どもの心に寄り添って」、児童相談所 一時保護課長より「保育者に求めるもの」

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

- ・別府校及び大分校にポスターを掲示し、啓蒙活動を行った。
- ・「学園祭」(別府校及び大分校)、「わくわくフェスティバル」においてコーナーを設置し【オレンジリボンのボード】を掲示、学生が来場者に対してパンフレットとオレンジリボンを渡しながら説明を行った(写真参照)。
- ・11月16日(土)「子どもの虐待防止推進全国フォーラムinおおいた」第1分科会において、専攻科学生が話題提供を担当。

## ③「オレンジリボン運動」を終えての感想等

・昨年度からの取り組みということもあり、学生の取り組みが前向きであった。また、事前学習を行ったことで、学生が主体となって運動を行い、対象者に説明することにより、児童虐待に対する学生自身の理解が深められ、意識の向上につながった。

・対象者に親子及び保育者が多かったことから、児童虐待について考えてもらう良いきっかけとなり、効果的な啓蒙活動ができた。



平成25年度

# 「学生によるオレンジリボン運動」 鹿児島女子短期大学 実施報告書



実施主体 児童教育学科 1年生有志

実施内容 平成25年10月27日の紫苑祭(大学祭)における啓発活動

## ①事前に取り組んだ内容

- ・活動拠点の会場ブースに掲示する資料・看板・ポスターを作成した。
- ・本学教員が専門的見地から児童虐待について講義する機会を設け、学生の「オレンジリボン運動」への理解と協力を促した。

## ②実施期間に取り組んだ具体的な内容

- ・有志学生が主体となり、紫苑祭の来場者にオレンジリボン・リーフレット・しおりを配布した。また、配布する際に「オレンジリボン運動」についての説明を行った。
- ・活動拠点ブースにて児童虐待防止DVDの上映を行い、来場者に児童虐待についての思いや感想をポスターに記入してもらい本学エントランスに掲示した。

## ③「オレンジリボン運動」を終えた感想等

紫苑祭会場には、約2000名(本学学生除く)の来場者があった。そのほとんどが地域の方々であった。児童虐待防止についての関心は高く、ポスターには「社会全体で考えなければならない課題」「地域が結束して子どもを守らなければならない」「もっとこのような運動を行って欲しい」などの意見が書き込まれていた。

また、活動に参加した学生からは、「将来、保育者として誰よりも子どもと近い存在になるので、虐待の早期発見・予防に貢献したい」といった意見を多数聞くことができた。

現在でも、学内ではリボンをバッグやジャケットに付けている学生をよく目ににする。

小学校教諭・幼稚園教諭・保育士の養成校として、本学が「学生によるオレンジリボン運動」に参加したことの教育的效果はきわめて大きかった。今後も継続して、地域の中で、児童虐待防止に貢献できる人材を育てたい。

